

ネット炎上〃に警報

法人向けのアクセス数調べ通知 新サービス

高崎のクライム

ソフトウェア、システム開発のクライム(高崎市栄町、金井修社長)は4月、法人向けにホームページ(HP)の閲覧数やインターネット上の書き込みなどを調べるサービス「パトサーチ」を始める。まずは試験運用し、10月からの本運用では書き込みが急増した際に警報メールを送信するほか、HP閲覧数などをグラフにしたリポートを提供する。ネット上の生の声を商品やサービスの改善に役立てたり、ネット炎上の対策を講じたい企業のニーズに応える。

契約企業が「パトサ」名を入力して検索する「パトサーチ」で自社名や商品と、閲覧数が多いなど、

注目を集めている情報から順に表示される。

自社に関係のないサイトなどを削除していくことで精度が高まり、必要な情報を効率よく集められる。

自社HPへの閲覧や書き込みが急増してあらかじめ設定した数に達すると、自動で警報

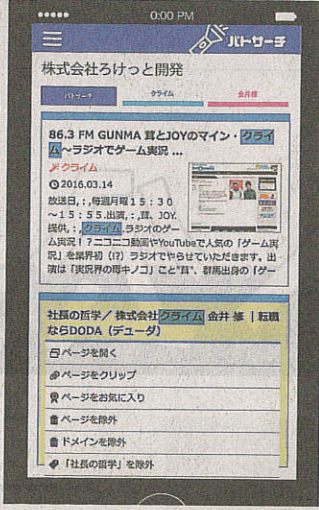
メールが届く。同社は「ネット上の炎上に気が付かないケースも多く、早期に対処できるようにした」と説明。ソフトウェアのろけっと開発(前橋市表町)と連携して開発した。

将来的には、弁護士と連携しながら誹謗中傷に当たるような書き込みの削除をサポートするサービスも考えている。

4月1日からクライムのHPで利用手続きを案内する。9月末までの無料試験期間には検索語は1ワードのみ。10月以降、月額3

万円まで検索でき、リポートやメール機能を提供する。1ワードの無料サービスは継続する。

金井社長は「ネット上には、店頭のアンケートではなく、本音の意見がある。マーケットリサーチになり、商品やサービスの改善に役立てられる」と話している。



「パトサーチ」のイメージ画面

達すると、自動で警報